

平成27年11月7日実施

# 新潟農業・バイオ専門学校

学校関係者評価 評価報告書

(平成26年度)

# 新潟農業・バイオ専門学校 平成26年度 外部学校関係者評価

平成27年11月7日実施 学校関係者評価委員会

評価指標: 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

		平成26年度 自己評価	外部評価 委員評価
1. 教育理念・目標	1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
	2. 学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4	4
	3. 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	3	4
	4. 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3	3

◆外部評価委員からの意見

学生、教職員に理念の浸透が進んでいるように感じる。社会経済のニーズをふまえた学校の将来を考えるうえで、農業分野の教育について可能性を感じている。

◆今後の改善施策

食、農、園芸という新潟県ならではの産業に学校、学生共に積極的に関わっているのが実になってきている。農業経営科においては、新潟大学、農業大学校との連携によって県主体となって「夢づくり・人づくり事業」に参画している。

◆特記事項

特になし

2. 学校運営	5. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3	4
	6. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3	4
	7. 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	3
	8. 人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	4
	9. 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	4
	10. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

農業経営科の実習運営が外部とのかかわりの中で特徴的なものとなっている。また、バイオ科の資格取得に苦戦している点は懸念事項である。園芸デザイン科による県立植物園への活用を継続してほしい。また、新潟市によって設置されたアグリパークの活用も注目したい。

◆今後の改善施策

学校運営のさらなる確立を進めると同時に時代状況に即した学科、コース設定を進めている。平成26年度より農業経営科では「1年制」、バイオテクノロジー科2年制では「きのこ・菌類コース」を新たに発足している。時代の流れに即した学科構成の構築を進めている。広報活動においては、ABiO通信の継続的な発行、ブログ等のSNSによる学内の教育状況の発信をすることで、効果的に進んでいる。新潟市アグリパーク、新潟県立植物園などの公共施設を実習先として活用することで、教育の内容のスケール感、独自性がアピールできている。7番の組織の意思決定システムについては外部からなかなかわかりにくいのが実情である。担当講師の実績、人員構成などは開示できるところは開示するよう進めていく。

◆特記事項

特になし

3. 教育活動	11.	教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4	4
	12.	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
	13.	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	4
	14.	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	3	4
	15.	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	4
	16.	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
	17.	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	3
	18.	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3	4
	19.	関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4
	20.	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3	4
	21.	職員の能力開発のための研修などが行われているか	3	3

◆外部評価委員からの意見

・食・農・緑に関わる職業人を育てるという理念に即した活動は継続されている。  
・基礎学力の不足が目立つよう感じる。そのような学生に対する指導体制の確立が必要ではないか。

◆今後の改善施策

基礎学力が不足している学生に対する対応として、①ICTを使った入学前教育の実施②バイオテクノロジー科では対象者を限定した補講の実施がなされている。また、平成28年度新入生から全員iPadの導入が予定されている。ICTを活用した効果的な教育の実現を図っていく。

◆特記事項

特になし

4. 学修成果	22.	就職率の向上が図られているか	3	4
	23.	資格取得率の向上が図られているか	3	3
	24.	退学率の低減が図られているか	4	4
	25.	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	4

◆外部評価委員からの意見

就職情報の提供をより密にしてもらいたいと、保護者から意見を頂いたことを受けて、教務だよりを刷新した。就職結果の紙面を充実させることで職業教育の具体的効果を示した。

◆今後の改善施策

就職年次生を対象とした保護者会を例年通り2月に実施。継続的に情報提供を進めている。個人情報公開の際、これまで以上に同意書の確認等システム化を図る。退学率の低減は担当者の努力により効果的に図られている。その一方で、入院等で休学を余儀なくされた学生が複数人いる。対応策としては担当者間の速やかな情報共有と専門家を交えた対応策の実現が挙げられる。

◆特記事項

特になし

5. 学生支援	26.	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	4
	27.	学生相談に関する体制は整備されているか	3	4
	28.	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
	29.	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
	30.	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3
	31.	学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
	32.	保護者と適切に連携しているか	3	4
	33.	卒業生への支援体制はあるか	3	4
	34.	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

年度当初の課題であった学生の進路・就職支援の求人情報の不足は解消しつつある。業界関係者との情報交換の場の更なる活用が必要であると考え。また、学内通信発行のみならず、A B i o通信の発行によって、在校生、保護者への情報提供の回数が増えたことは歓迎できる。課外活動の内容、動向について知りたい。

◆今後の改善施策

この要望に関して、引き続き就職支援の情報提供の充実を図っていくと回答。また、学内通信が学生間でも浸透するよう対応していくことも提示した。A B i o通信の発行回数が増加することで、保護者への情報提供の回数が増えた。また、平成27年度より昼休みを活用した教職員によるオフィスアワーの実施を新たに試みた。これによって相談のチャネルが増えたことは確かである。今後、学生への利用促進をいかに図るかが課題といえる。課外活動は現在、フットサル部、料理部、バトミントン部、写真部が活動している。特に、フットサル、バトミントンは活動が活発であり、週1回程度実施している。学生が主体的に活動している点、教育的効果も期待できるため、学生からの提案については積極的に応えていきたい。

◆特記事項

保護者会は平成26年度も、昨年度同様3回実施（新入生対象1回、全体保護者会1回、就職年次生対象1回）した。なお、保護者会の参加率は全体で平均60%程度となっている。今後の実施回数も同様にする予定。

6. 教育環境	35.	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	4
	36.	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
	37.	防災に対する体制は整備されているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

教室、実習設備、実習場といった教育環境の整備は充実してきている。実習地の確保も十分であると考え。

◆今後の改善施策

新潟市施設（いくとぴあ食花、アグリパーク）、新潟県施設（新潟県立植物園）の積極的な活用がなされている。アグリパークでは1週間で2回程度の実習の実施、県立植物園ではイベントへの協力、卒業作品の展示場所として大いに活用している。課題として、海外研修の実現が年によって困難である点が挙げられる。希望者を募集する点において、学生時代の海外経験の魅力を伝えることで実施定員まで募集を進めていく。同時に保護者の方の理解も必要であるため、ガイダンスを通じて理解促進を図っている。

◆特記事項

避難訓練を7月に実施。災害時の近隣住民との連携を進めている（毎年1回4月に近隣住民懇談会を実施）。

7. 学生の受入れ状況	38.	高等学校等接続する機関に対する情報提供の取り組みが行われているか	4	4
	39.	学生募集活動は適正に行われているか	4	4
	40.	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3	4
	41.	学生納付金は妥当なものとなっているか	4	3

◆外部評価委員からの意見

特になし

◆今後の改善施策

引き続き、高校生、入学希望者への適正な学生募集活動、学校の情報提供の実現に努めていく。今後、就職実績の広報は就職数より、就職先を強調していく。就職先の業務内容、そこに至るまでの当校での教育内容、経験をしっかりと伝えることで、当校の教育特徴と将来の進路とのつながりを強調していく。

◆特記事項

特になし

8. 財務	42.	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
	43.	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
	44.	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

特になし

◆今後の改善施策

特になし

◆特記事項

学校法人として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位としている。

9. 法令等の遵守	45.	法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
	46.	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4	4
	47.	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

特になし

◆今後の改善施策

迅速な情報公開の実現を図る。また、毎年実施される学生授業アンケート、学校調査ならびに保護者アンケートの内容の検討も引き続き行う。

◆特記事項

特になし

10. 社会貢献・地域貢献	48.	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
	49.	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3
	50.	地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	3

◆外部評価委員からの意見

新潟市、新潟県、近隣小学校、地域のNPO法人などとの連携が図られている。ABi o祭の実施など、近隣住民との交流を積極的に努めている点は評価できる。近隣住民の委員の方からは近隣地区をも巻き込んだイベントをもっと回数を増やしてほしいとの意見が上がった。

◆今後の改善施策

地域への公開講座、教育訓練の受託がなされていない現状を踏まえ、社会人などに向けられた公開講座の実施の検討を進めている。また、近隣地区をも巻き込んだイベントとしてABi o祭が挙げられる。近隣の方々も楽しみにしているようである。今後も継続していきたい。他にも、オープンキャンパス時の直売所を本年度より実施している。また、近隣の小学校との連携事業は地域コーディネータとの連携の下、本格的に運用している。具体的には小学生の農業体験教室のサポート、担当職員による文化祭への参加などが挙げられる。

◆特記事項

特になし